

板橋区旧保健所跡地複合施設 整備構想及び整備計画策定支援並びに

基本設計及び実施設計業務委託

事業者選定 第二次審査評価基準

1 目的

この基準は、板橋区旧保健所跡地複合施設 整備構想及び整備計画策定支援並びに基本設計及び実施設計業務委託（以下「本委託」という。）事業者選定に関し、最適な提案者を公平かつ公正に選定するため、第二次審査に関する必要な事項を定めることを目的とする。

2 選定方法

①選考基準

評価項目については、本業務の目的や内容に応じて必要性を考慮し、概ね次の内容のとおり設定し、選定委員による採点を行う。

《項目1 業務目的・内容^{*1}》

本業務の目的を理解し、「にぎわい・交流の拠点」に繋がる委託業務目的・内容の提案となっているか。

《項目2 魅力的なホール・貸出施設^{*1}》

「区の文化芸術活動や魅力の発信」「新しい文化活動の創出・区民のコミュニティ活動」「様々な主体や多様で個性的な利活用の促進」「子どもの活動や居場所づくり」に対応するための施設整備に関する考え方について、具体的な提案があるか。

《項目3 文化会館等文化施設との連携^{*1}》

文化会館等文化施設との連携について、効果的かつ魅力向上が実現できる方策や、連携方法の検討に対する手法、区との役割分担について具体的な提案があるか。

《項目4 行政サービス機能の向上^{*1}》

「区民の利便性や行政サービスの向上」「本庁舎周辺の公共施設再編を見据えた事業手法・整備方針」「本庁舎周辺の公共施設や四ッ又公園との施設・利活用の連携」「有事の際の本庁災害対応機能の補完」に対応するための施設整備に関する考え方について提案があるか。

《項目5 地域住民説明・意見聴取^{*1}》

地域住民への説明や意見聴取をどのように行うか、具体的かつ効果的な提案があるか。

《項目6 進行管理^{*1}》

整備構想・整備計画策定及び基本設計・実施設計までのスケジュールについて具体的かつ合理的な提案があるか。

《項目7 組織体制》

委託内容の運営支援を確実に実行できる専任性の高い担当者を配置しているか。また、組織体制は万全で、板橋区との役割分担の認識は明確か。

《項目8 契約実績》

同種、類似の事業（ホールを含む複合施設等）実績があり、本委託実施に必要な実績・ノウハウを有しているか。

《項目9 意欲・受け答え等》

発表から本委託業務に対する強い意志と積極性を感じられたか。質疑応答が明

瞭であったか。また、その他質疑により特に加点したい項目があるか。

《項目10 区内事業者の活用※²》

以下基準を参考に採点をする。

- 5点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある（主に業務を行う企業）
- 4点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある（JV 参加企業）
区内に営業拠点である 支社又は支店がある（主に業務を行う企業）
- 3点 区内に営業拠点である 支社又は支店がある（JV 参加企業）
- 2点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、具体的な記載がある。
- 1点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、方針等に関する記載がある。
- 0点 上記記載がない。

《項目11 提案金額※²》

以下基準を参考に採点をする。なお、提案金額が配点の境である場合は点数の多い方を採用する。

- 5点 契約上限金額×70～80%、
- 4点 契約上限金額×65～70%及び80～85%
- 3点 契約上限金額×60～65%及び85～90%
- 2点 契約上限金額×55～60%及び90～95%
- 1点 契約上限金額×50～55%及び95～100%
- 0点 契約上限金額×50%未満

※1 プロポーザル方式の手引きによる必須審査項目（提案内容）であり、その合計の配点割合が第1位になるように設定が必要な項目

※2 プロポーザル方式の手引きによる必須審査項目（その他）

②配点と採点

○配点については、重要項目の「項目2」「項目4」は係数を4、「項目1」「項目3」「項目6」「項目7」「項目9」は係数を3、その他の項目（項目5、8、9、10、11）は係数を2として算定し、満点は155点とする。

○項目ごとに0～5点で採点する

- 5点 最上位 4点 上位 3点 中位 2点 下位 1点 最下位
- 0点 該当項目記載なし

③評価点

○選定委員による評価は、別表2「評価書(第二次審査)」のとおりとする。

○評価点は、以下の方法で計算される。

- ・選定委員ごとの評価書の採点数を計算する。
- ・各選定委員の全ての採点数を加算する（選定委員総合計点）。

《計算例》

A選定委員評価点	…	110点
B選定委員評価点	…	106点
C選定委員評価点	…	102点
選定委員総合計点	…	318点(110点+106点+102点)

④評価点が高点で複数ある場合、重要項目の評価点が高い順に順位を決定する。

No.1「項目2 魅力的なホール・貸出施設」

No.2「項目4 行政サービス機能の向上」

重要項目順位はNo.1>No.2とする。

⑤評価点が高点で、かつ、重要項目の点数も同じ場合には、実施要領第7条第5項に定めるとおり、委員の多数決により決定し、この多数決も同数の場合には、委員長の決するところによる。